



## 年頭にあたって

参議院議員

自民党組織運動本部 本部長代理

藤井 基之

新年明けましておめでとうございます。薬剤師会の会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年10月に行われました衆議院総選挙では、自民・公明の連立与党が3分の2を超える議席を確保することができ、引き続き安定した政権運営を担えることとなりました。ご支援を頂いた皆様方には、改めて厚く御礼申し上げます。

私はこの1年、厚生労働委員会等の質疑において医薬品供給や医療提供に関する時事の問題を取り上げ、迅速かつ適正な対策の実施に努めるとともに、沖縄・北方問題特別委員会の委員長として、新たな分野に取り組み、政策の幅を広げることもできました。また、自民党の総務副会長として、党運営や国会活動に関する重要事項の決定に携わって参りました。更に9月には、自民党の組織運動本部の本部長代理に任命され、党の組織強化にも取り組んでいるところです。今後ともこうした経験を糧に、心豊かな社会づくりに尽力して参りたいと思います。

さて、昨年はC型肝炎治療薬「ハーボニー配合錠」の偽造品が流通し、患者に調剤されるという驚くべきニュースから始まりました。当該偽造品を調剤された患者の機転により大事に至らなかったのは幸いでしたが、この偽造品が外箱のない裸ボトルで、当然あるべき添付文書も添えられていない稚拙品であったにもかかわらず、正規の医薬品卸売販売業から保険薬局を通じて患者の手許に届いたことは、許可を受けて生命関連商品を扱う者にとって看過される事柄ではありません。

国民の医薬品への不安や薬剤師・薬局に対する不信を解消するためにも早急な対応が求められ、厚生労働省は「医療用医薬品の偽造品流通防止のための施策のあり方に関する検討会」を急遽立ち上げ、直ちに行うべき事項について中間報告として取りまとめ、その内容を踏まえて薬機法施行規則等を改正し、医薬品の譲受・譲渡時の取り扱いについて所要の措置を講じました。また、日本薬剤師会、日本保険薬局協会及び日本チェーンドラッグストア協会の3団体は、「薬局間における医療用医薬品の譲受・譲渡に関するガイドライン」を作成し、その徹底を図りました。

この他、一部の調剤薬局チェーンによる保険の不正請求も残念な出来事でした。また、一昨年の保険薬局の構造に係わる規制の見直しにより、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致が進んでいることも、「患者のための薬局ビジョン」の達成に向けて、「かかりつけ薬剤師・薬局」や「健康サポート薬局」への積極的な取り組みに逆行しかねないと、危惧するところです。

4月の診療報酬・調剤報酬の改定にあたって、こうした状況が如何なる影響を及ぼすか分かりませんが、いずれにしても、皆様方が患者と真摯に向き合い、医薬品の適正使用や人々の健康増進に努め、その信頼を高めていくことがより大事になると思います。

薬剤師の皆様方の益々のご活躍、ご健勝と貴薬剤師会のご隆盛を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願い申し上げます。